



## 原発事故後の子どもたちに 自分で考え、生きる力を。



石田 伸子 (いしだ のぶこ) さん

一般社団法人「子どもたちの健康と未来を守るプロジェクト」(略称:こどけん) 共同代表。  
NPO法人「子ども全国ネット」理事。季刊『こどけん通信』編集責任者。

原発事故後に東京と福島で活動してきた一般社団法人「子どもたちの健康と未来を守るプロジェクト」。  
共同代表の石田伸子さんは、原発事故後のこれからを生きる子どもたちに、「自分の身を守るための正しい知識と、考える力を身に付けてほしい」と話します。

### 自分たちで始めた、子どもを守るプロジェクト

2011年の原発事故直後、各地に子育て中の親などが中心となった市民グループが多数立ち上がりました。とくに情報交換や発信に力を入れる、一般社団法人「子どもたちの健康と未来を守るプロジェクト」(略称:こどけん)もそのひとつです。福島県内で、座談会や放射能についての勉強会の開催、子どもたちの保養企画、通学路の放射能測定といった活動を行ってきました。

2012年から有志の医師を募って始めた健康相談会では、「周りには言いづらい」という放射能への不安を打ち明けるお母さんの姿もあったといいます。現在でも、保護者から依頼があれば、子どもたちの通学路の放射能測定をいっしょに行い、結果を公表しています。

「原発事故が起きたあと、子どもの健康や学校給食についてなど不安がたくさんありました。当初は国や自治体が何とかしてくれるだろうと思っていたのですが、支援がないため、次第にお母さんたち自身が、自分たちでできることから始めていったのです」。そう話すのは、共同代表の石田伸子さんです。

「こどけんでは、東京と郡山(福島県)の子どもをもつ親たちがいっしょに活動しています。郡山は避難指示区域ではありませんが、数年前までは測定すると放射線量が高いスポットもあって、不安を感じている人が多かったのです」(石田さん)



#### リテラシーとは…

必要な情報を引き出し、活用する能力。応用力のこと。とくに放射能問題については、膨大な情報源のなかから自分や周りの人を守るための正しい情報を得て、くらしのなかでの対策に役立てることが求められています。

2016年11月に荒木田岳さん(福島大学)を講師に開催されたリテラシー講座

### 自分で情報を集め、考え、判断する力を

石田さんたちが、今とくに必要だと感じている活動が、中学生を対象にした放射能「リテラシー講座」の開催です。

「現在の中学生は事故当時5、6歳。原発事故のことをよく知らないという子どもが多いです。でも、放射能の影響は長年続きます。事故のことを知らない世代に、これから自分の身を守るため、最低限の知識や情報を知ってほしい」と石田さん。

そこで、こどけんでは大学の研究者などを講師に招き、主に郡山の中学生を対象に講座を開いてきました。大切にしているのは「不安をあおるのではなく、不要な被ばくを避けて安全にいらしていただくための正しい情報と知識を伝えること」。

受講した中学生からは「原発事故はもう終わったことだと思っていた」「自分で判断するのが大事だとわかった」という感想もありました。

放射能防護の知識を伝えたいと、こどけんが季刊で発行している情報冊子『こどけん通信』にも、ときどき中学生からの感想を掲載しています。そこには「放射線測定の大切さが伝わってきた」「過去を取り消すことはできない。だからこそ、今後の取り組みが大切」といった率直な意見もあります。

「原発事故の経験から、私が子どもたちにいちばん伝えたいと思っているのは、自分で情報を集め、考えて、選択することの大切さです。それは放射能のことだけに限らず、子どもたちが生きていくうえで力の力になると思います」(石田さん)

■「子どもたちの健康と未来を守るプロジェクト」や『こどけん通信』について詳しく知りたい方はWebサイトをご覧ください。

こどけん 検索  
<http://kodomotatinomirai.livedoor.blog/>



#### お知らせ

パルシステム東京  
甲状腺検診キックオフ学習会 10/5(土)  
子どもたちを放射能から守るために 10:30~12:30  
(東新宿本部)

民間での甲状腺検診を続ける「たらちねクリニック」院長の藤田操さんにお話しいただきます。詳細はパルシステム東京のWebサイトをご覧ください。

パルシステム東京 検索  
<http://www.palsystem-tokyo.coop/m/event/archive/028528.php>



## 放射能検査状況について

2019年度の検査数(カッコ内は検出件数)  
2019年7月31日現在

総計: 1250(9) 不検出率: 99.3%

2018年度の検査数 総計: 3943(47) 不検出率 98.8%

青果	203(0)	2018年度、れんこん(6.4Bq/kg)・甘夏(3.0Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
しいたけ	13(9)	生しいたけ(4.6~10Bq/kg)と、岩手県産乾しいたけ(6.6Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
他のきのこ類	33(0)	2018年度も放射能の検出はありません。
米・米飯類	0(0)	2018年産米の検査は、28産地30検体の玄米で検査し、栃木こしひかり(4.4Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。白米で再検査したところ不検出でした。 ※放射能の多くはぬか部分に蓄積します。検出された栃木こしひかりは白米でのお届けとなります。

牛乳、肉、卵	33(0)	産地ごとに定期的に検査しており、2018年度も放射能の検出はありません。
魚介類	71(0)	2018年度も放射能の検出はありません。
飲料水・飲料	33(0)	2018年度も放射能の検出はありません。
乳幼児用食品	104(0)	2018年度、検出下限値1Bq/kgで検査を行い、冷凍さつまいもスティック(1.2Bq/kg)から自主基準内で検出されました。2017年度産直野菜チップス(さつまいも・にんじん)(1.2Bq/kg)から自主基準内で検出されました。
その他加工食品	760(0)	2017年度、サプリメントのブルーベリー&ルテイン(8.2Bq/kg)から自主基準内で検出されましたが、2018年度は検出されませんでした。

※乳幼児用食品のみ検出下限値1Bq/kg、その他は検出下限値3Bq/kg。



●週次の「放射能関係のお知らせ」はインターネットに掲載しています。  
●インターネットから見られない方はこちらにお問い合わせをお願いします。

パルシステム東京・パルシステム神奈川ゆめコープ・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき  
パルシステム 問合せセンター ☎0120-868-014  
月~金曜日:9時~20時 土曜日:9時~17時  
※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨 甲府センター ☎0120-28-5891 高崎センター ☎0120-60-5118  
西桂センター ☎0120-32-1061 渋川センター ☎0120-36-3315  
一宮センター ☎0120-21-9898 東毛センター ☎0120-63-3735  
※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。